

基本方針および施策目標の取り組み状況

函館市交通事業経営ビジョン進行管理全体総括(令和元年度まで)

令和元年度は、軌道改良工事や3両の車体改良などの建設改良のほか、スマートフォンを活用した市電24時間乗車券の販売試行を実施しました。また、年度末にかけて新型コロナウイルス感染症による影響のために乗車人員が減少しましたが、概ね財政計画どおりの乗車料金収入を確保しました。

これまでの取り組み(平成29年度～令和元年度)につきましては、軌道や電路の改良、停留場へのスロープ設置のほか、事故防止に係る研修や訓練を行うなど、安全性の向上に向けた取り組みを進めました。

また、1両の超低床車両を導入し、8両の車体改良を実施したほか、乗務員への接遇研修の実施やICカードの活用を図るなど、快適性や利便性の向上へ向けた取り組みを進めました。

地域に対する取り組みにつきましては、イベント開催時や繁忙期において増車運行や立哨案内を実施しました。

電車の利用促進に向けては、旅行代理店に対する営業やスマートフォンを活用した乗車券の販売試行などの取り組みを進めました。

財政計画におきましては、計画を上回る累積財源残額を確保しています。

これらの結果として、令和元年度までの交通事業経営ビジョンの取り組み状況は、「概ね順調」と考えています。

上段:評価件数 下段:割合

| 基本方針および施策目標 | | 「B」評 価 以上 | 「A」 評価 | 「B」 評価 | 「C」 評価 | 「D」 評価 | 計 |
|--|-------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| | | | | | | | |
| 1 れ安 全公 で信 交頼 通さ | (1)安全性の向上 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| | 計 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| | | 100% | 0% | 100% | 0% | 0% | 100% |
| 2 便利 サー ビス の提 供 | (1)快適性の向上 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | (2)利便性の向上 | 5 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| | 計 | 7 | 0 | 7 | 0 | 0 | 7 |
| | | 100% | 0% | 100% | 0% | 0% | 100% |
| 3 ま ち や 地 域 へ の 貢 献 | (1)地域社会への貢献 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | 計 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | | 100% | 0% | 100% | 0% | 0% | 100% |
| 4 経 営 基 盤 の 強 化 | (1)収益力の向上 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | (2)経営の効率化 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | 計 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| | | 100% | 0% | 100% | 0% | 0% | 100% |
| 合計 | | 18 | 0 | 18 | 0 | 0 | 18 |
| | | 100% | 0% | 100% | 0% | 0% | 100% |

A : 完了した・計画を上回っている
B : 概ね計画どおりに進んでいる

C : 計画を下回っている
D : 著しく計画を下回っている